

研修制度

【研修概要】

各トレーナーのカテゴリー（ランク）により、そのレベルに応じた研修を実施。

《研修内容》

入社1年目

- 筆記試験（解剖学・生理学・バイオメカニクス等、学校で習った基礎レベル的な内容）
- 実技試験（基礎実技、応用実技）
- パーソナルトレーニング研修（パーソナルトレーニング指導を行う前に勉強する内容・FMS等を学ぶ）
- チーフトレーナー養成研修（実務における総合的な能力の見直し。基礎学力や実技レベル等）

入社2年目以降

- マネジメント研修（施設運営・管理業務や売上の算出方法論を学ぶ内容）
- リーダー研修（上司としての立ち位置、管轄エリア長になる為の内容）

評価制度

【評価概要】

カテゴリー（職位）により、給与評価（管理職評価・達成評価）、賞与評価が異なる。上位カテゴリーに進むためには、各種研修をクリアしていく必要と業績を上げる必要がある。勿論、カテゴリーに応じて、業務内容も違ってくる。

《トレーナーカテゴリー（ランク）》

カテゴリー(職位)	ランク	ランク	ランク
トレーナー	A	B	
チーフビギナー	A	B	
チーフマスター	A	B	C
統括	A	B	
エリアマネージャー	A	B	C

入社後の職位成長モデル

入社3年目～5年目

職位：チーフマスターA・B～統括A・B

業務内容：

チーフマスター：自施設運営管理業務に加え、役職業務（サブ）を2つ持つ。

統括：役職業務メイン1つ、サブ1つを持つ。2～3施設の売上・利益責任管理者

入社5年目以降

職位：エリアマネージャーA・B・C

自エリア総施設の売上。管理責任者

担当エリアの売上向上に務め、目次役職業務をメイン2つ、サブ1つを担う。

入社2年目

職位：チーフビギナーA・B

業務内容：

1人で現場業務を行う。グループプレスン業務、パーソナルトレーニング業務、施設管理業務等

入社1年目

職位：トレーナーA・B

業務内容：

チーフトレーナーの元でアシスタント業務を行う。グループプレスン業務がメイン業務となり指導の質を向上させる